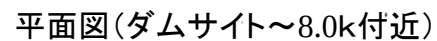


「第4回 矢作ダム貯水池総合管理計画検討委員会」

（矢作ダム貯水池の堆砂実態と対策検討）

1. 矢作ダム貯水池
2. 年堆砂量（従前値と今回算出値）
4. ダム地点から3.0km区間における200m, 400mの測線
5. 堆砂形状の縦断変化
6. 堆砂形状の縦断変化（昭和45年～55年）
7. 昭和54年の水位低下による土砂移動
8. 堆砂形状の縦断変化（昭和55年～平成11年）
9. 堆砂形状の縦断変化（恵南豪雨前後）

1. 矢作ダム貯水池



総貯水量: 80,000,000m³

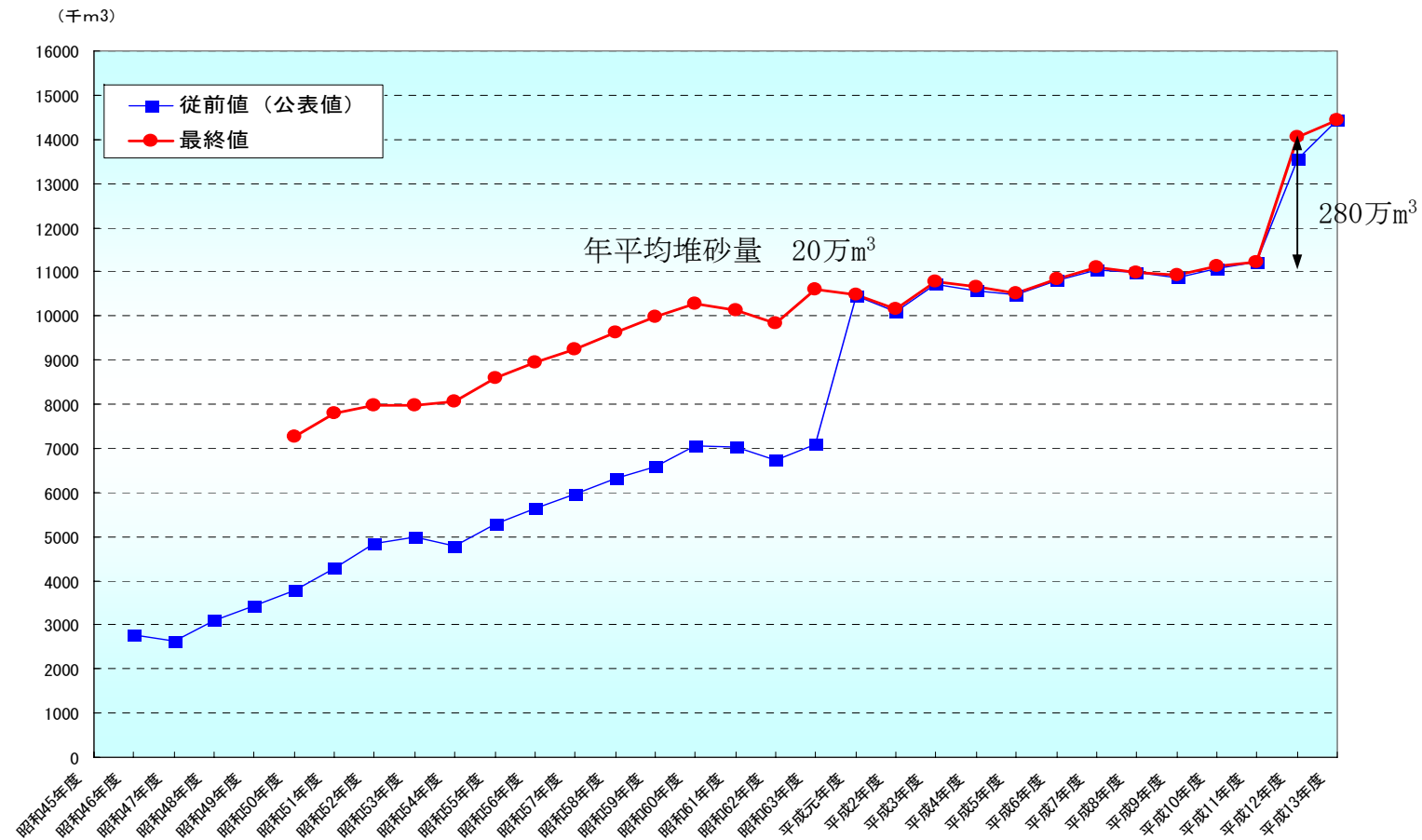
H13年堆砂量:14,000,000m3

有効貯水容量内堆砂量:8,300,000m³

治水容量内堆砂量:1,100,000m³

図-3.2.1 矢作ダム概要図

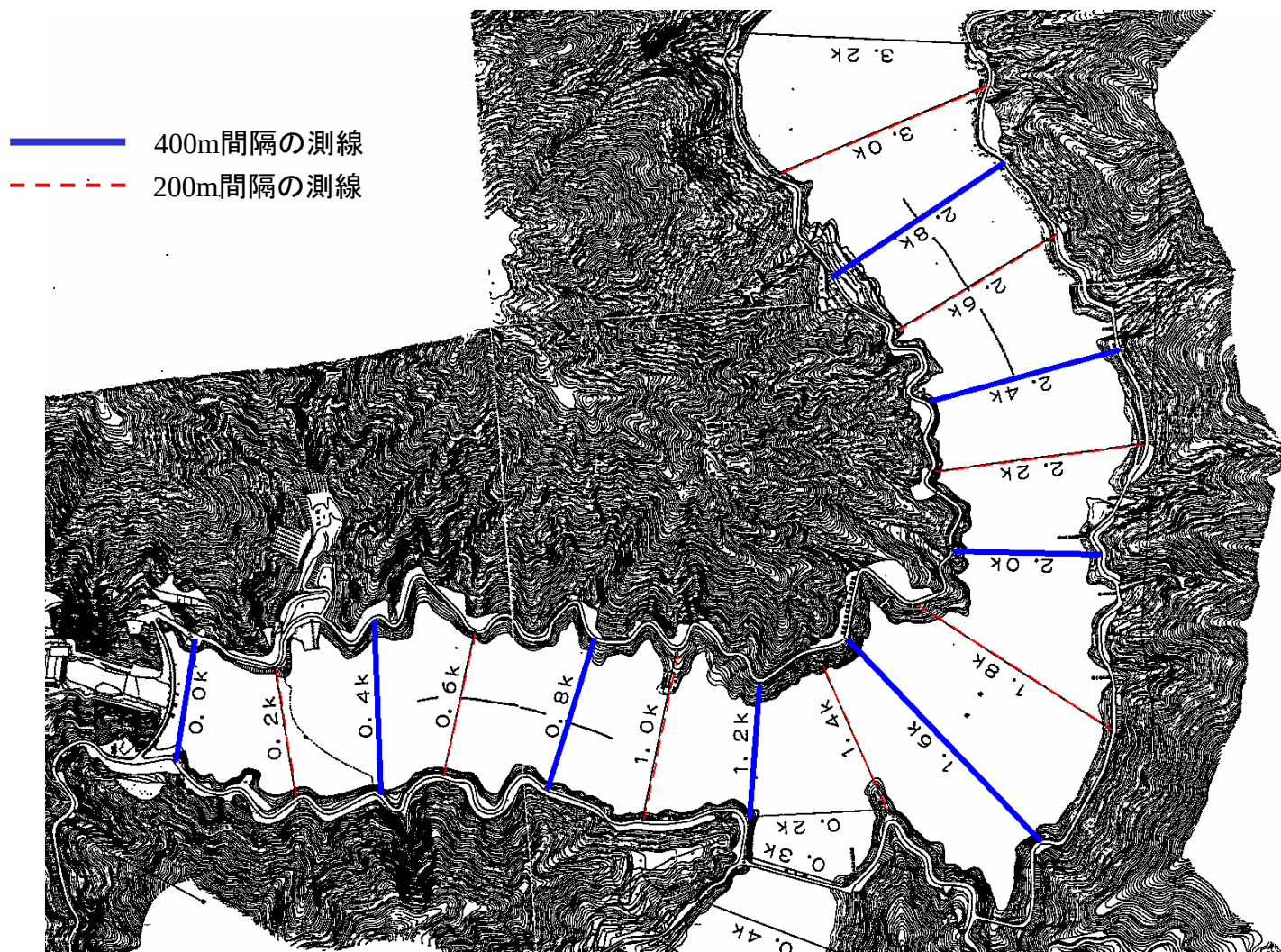
2. 年堆砂量（従前値と今回算出値）



		昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度
総堆砂量 (m ³)	従前値 (公表値)	2,763,000	2,636,000	3,103,000	3,423,000	3,783,000	4,269,000	4,831,000	4,986,000	4,792,000	5,276,000	5,645,000	5,953,000	6,322,000	6,596,000
	最終値					7,247,300	7,798,800	7,971,100	7,975,000	8,071,200	8,590,600	8,936,600	9,250,400	9,637,100	9,976,000

		昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
総堆砂量 (m ³)	従前値 (公表値)	6,728,000	7,081,000	10,451,000	10,092,000	10,711,000	10,577,000	10,477,000	10,804,000	11,049,000	10,987,000	10,873,000	11,069,000	11,210,000	13,540,000
	最終値	9,831,900	10,604,100	10,483,700	10,148,000	10,764,000	10,659,800	10,500,100	10,839,700	11,098,200	10,969,100	10,909,500	11,117,000	11,212,600	14,042,700

3. ダム地点から3.0km区間における200m, 400mの測線



4. 堆砂形状の縦断変化

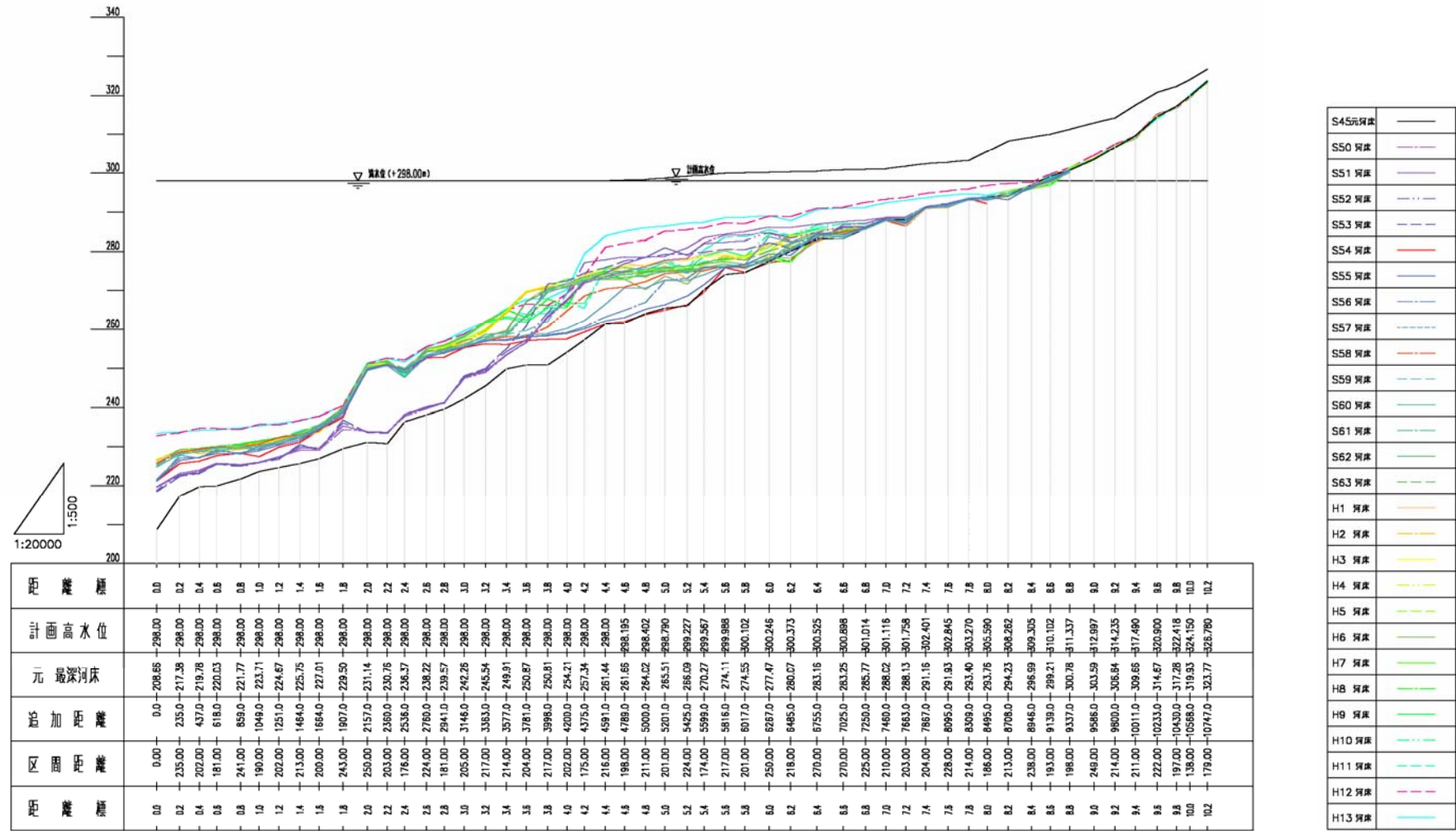


図-3-2-4 堆砂形状の縦断変化（全期間）

5. 堆砂形状の縦断変化（昭和45年～55年）

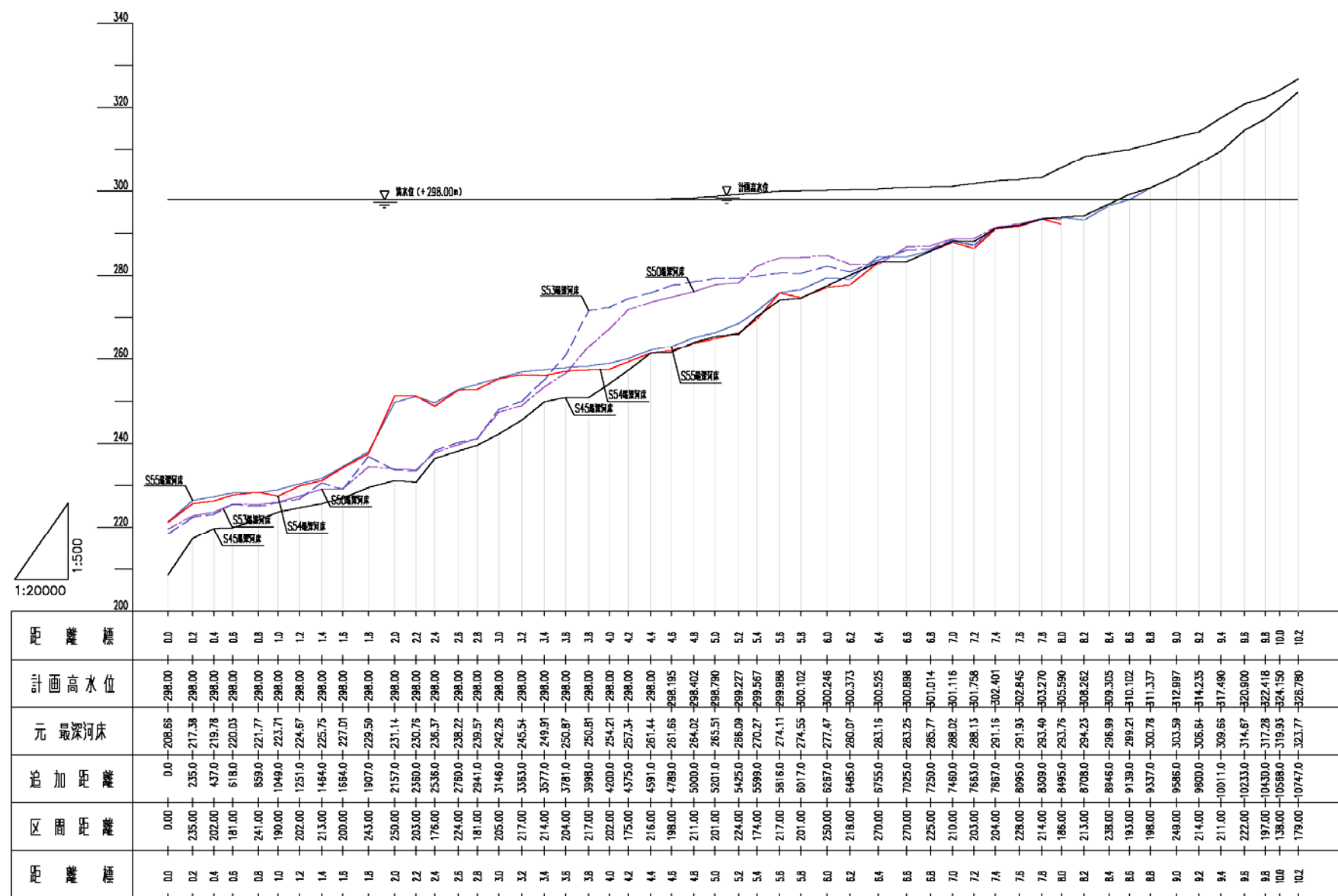


図-3-2-5 堆砂形状の縦断変化（昭和45年～55年）

6. 昭和54年の水位低下による土砂移動

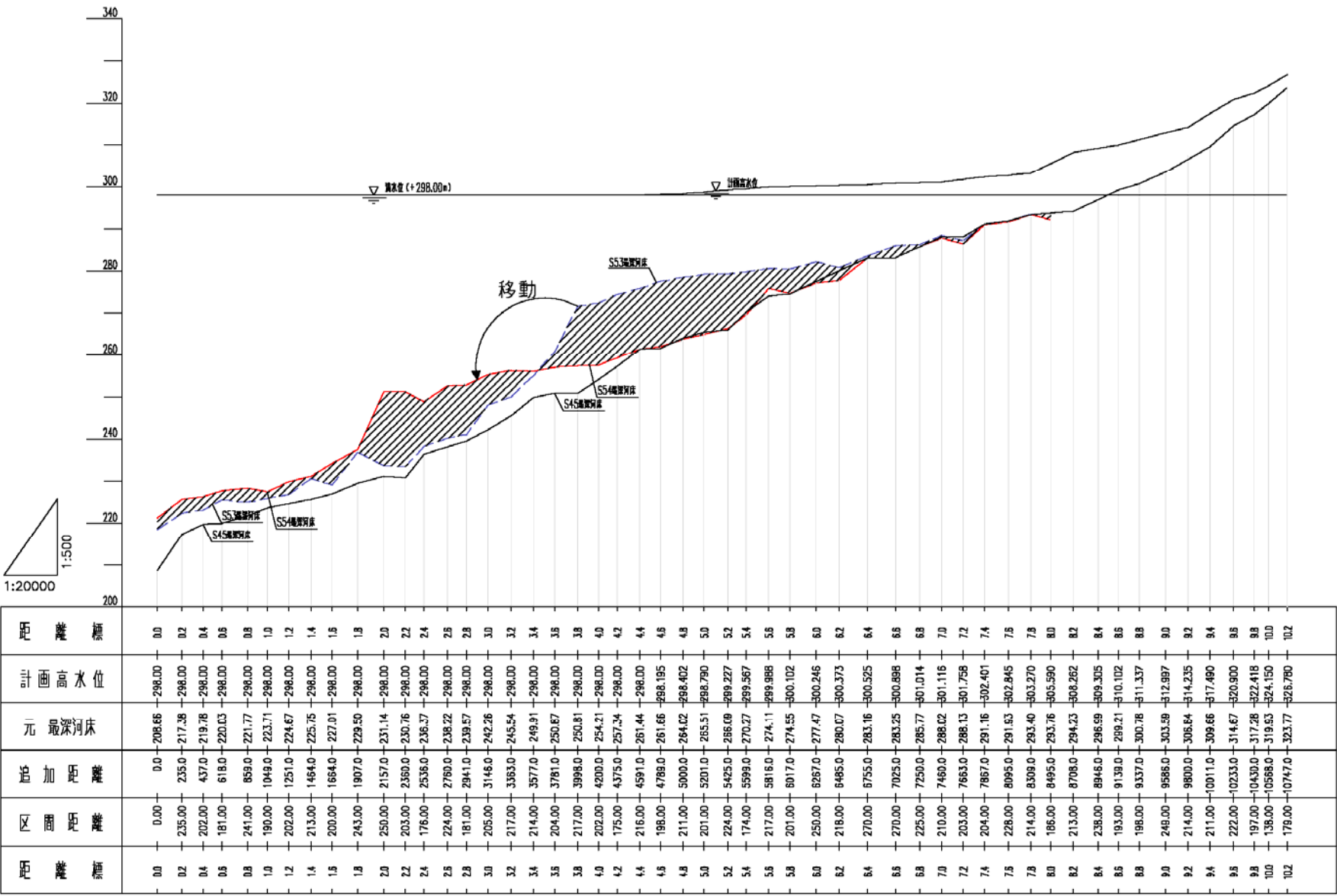


図-3-2-6 昭和54年の水位低下による土砂移動

7. 堆砂形状の縦断変化（昭和55年～平成11年）

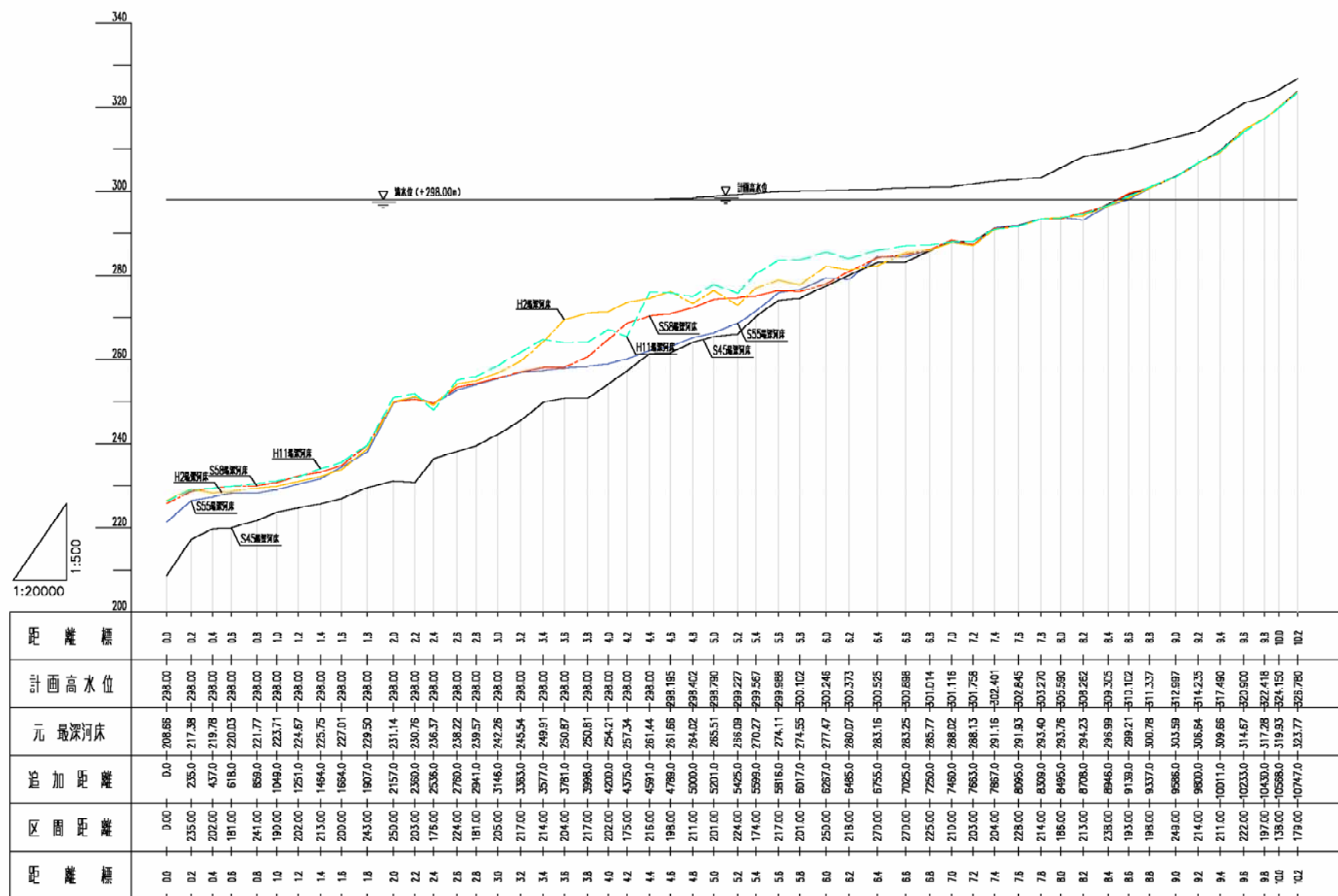


図-3-2-8 堆砂形状の縦断変化（昭和55年～平成11年）

8. 平成12年東海豪雨による土砂移動

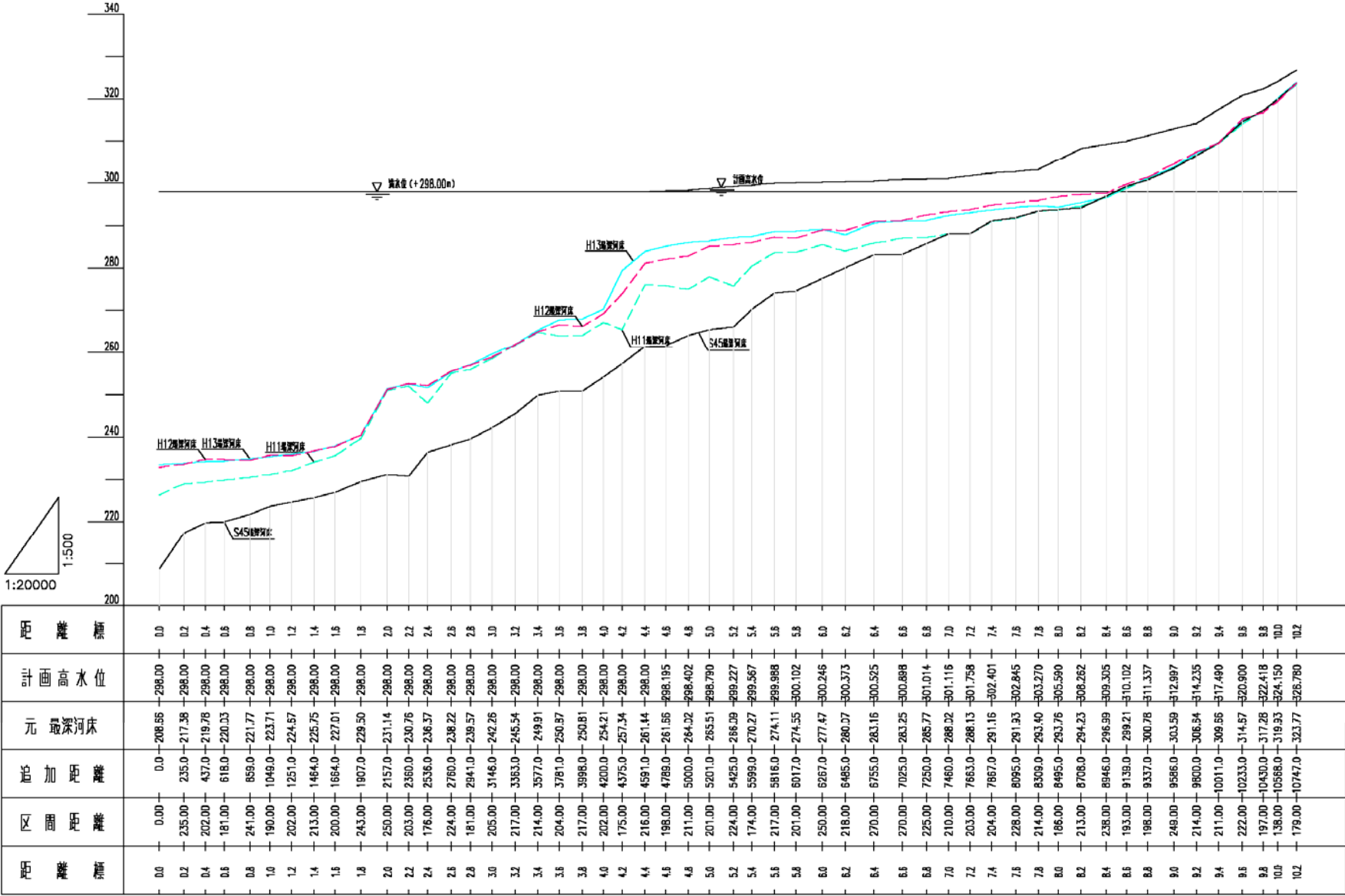


図-3-2-9 堆砂形状の縦断変化（恵南豪雨前後）